

第3回ふくまちエリア価値創造フォーラム

【日 時】 2025年（令和7年）1月24日（金）14：00～16：00
【場 所】 iti SETOUCHI内 コワーキングスペースtovio
【テーマ】 エリア価値を生み出す企画と運営
【参加者】 75人（オンライン参加を含む）
【内 容】 講師レクチャー・グループワーク・質疑応答



講師レクチャー

● 高円寺アパートメント（東京都杉並区高円寺）

- ・ JR東日本土地開発の社宅として運営されていた物件を、2017年にリノベーションし、芝生や店舗を導入した。
- ・ 講師の宮田サラさんは、そこで女将として住民同士の関わり合いをサポートし、住んでいる方々の交流の場を作っている。
- ・ 高円寺アパートメントでのコミュニケーションを地域にも広げ、顔の見える関係を築くため、高円寺アパートメントマルシェを年1回開催している。それにより、住民同士の関りを深めると同時に、まちの人々ともつながる機会を提供している。
- ・ マルシェの特徴として、出店者に飲食店の事業者もいれば、こどもも出店できるなど、だれでも参加しやすい雰囲気を作っている。
- ・ 経年劣化ではなく、経年変化をめざし、住民たちが自らの住まいの価値を高めることができている。
- ・ 昔ながらの町内会のように強制力があるのではなく、仕事の忙しさやライフスタイルの変化に応じで、自由に関わり方を選ぶようにすることで、住民の自治意識も芽生えてくる。



高円寺アパートメントでのイベントの様子

● 下石井公園でのマーケット（岡山市）

- ・ 岡山駅から徒歩15分ほどの街中にある公園で、月1回のファーマーズマーケットを開催している。
- ・ マーケットの開催だけでなく、日常との共存も大切にするため、イベントだけで公園を占有せず、常に半分を日常的に遊べる空間として残す工夫をしている。
- ・ ルールを緩めるコミュニケーションも重視しており、例えば一部の芝生エリアではペット同伴が許可されているが、動物が苦手な人にも配慮するため、ドッグトレーニングイベントを開催し、ペットとの共存について学ぶ機会も提供している。



講師/宮田 サラさん
(株)まめくらし/(株)nest取締役/
高円寺アパートメント 女将



ファーマーズマーケットの様子

また、公園での安全なボール遊びの方法が学べるよう、こども向けのイベントについても計画している。

（次頁に続く）

- まちに知り合いや友達を増やすことを目的に、2か月に1回、ごみ拾いとコーヒーを飲みながら交流する

「Cleanup & Coffee Club (CCC)」を開催している。



ファーマーズマーケット当日の下石井公園の様子

ごみ拾いを兼ねた住民同士の交流を図ることで、地域全体の連帯感を高めている。

- イベント利用と日常利用を両立させる工夫により、公園を地域住民にとって開かれた場として維持している。

● 池袋リビンググループ（東京都豊島区池袋）

- 南池袋公園とグリーン大通りを活用し、「池袋リビンググループ」という取組を行っている。そこでは地域住民が集まりリラックスできる「まちなかりビング」のような場所にしようと、様々な実験を行っている。
- マーケットは最初20店舗程度からスタートしたが、現在は60店舗が出店する大規模なものになっている。これにより、まちの人々とのつながりが生まれ、会話が広がるストリートになっている。
- マーケットなどで発生した生ごみを堆肥化し、その堆肥で育った野菜をマーケットで販売するという循環的で持続可能性のある取組も行っている。
- ストリートファニチャーの設置にあたり、地元の建築家と連携して、解体された小学校の床材を使ってベンチを

作成・設置するなど、まちなかの未来を考える視点で活動を行っている。

- 2024年に行った「池袋人人横丁」という取組では、出店者の方にも企画・運営に関わってもらうことを意識し、一緒に活用方法を検討した。
- 「池袋リビンググループ」の特徴は、企業や行政、個人がフラットに連携しながら活動している点である。豊島区からの委託費だけでなく、企業との協賛やクラウドファンディングを活用して資金を調達し、活動を支えている。
- 日常的な関係を築くため、大きなマーケット以外に「ストリートキオスク」という取組も行っている。マーケットは規模が大きく、関わる人も多いため、疲れてしまうこともある。「ストリートキオスク」はミニマムで、緩やかな形で実施できる仕組みを考えている。



- 池袋のマーケットが成功しているのは、顔の見える関係を作り、一緒に運営していくことで築かれた関係性があるからだと考えている。



グリーン大通りででの日常的なコミュニケーションの様子

- 大事なことは、面倒と覚えることがサインになっていると思う。それを乗り越えることで素晴らしい成果が得られると思う。自分自身も、リビンググループの場を作る中で、面倒と思うことを前向きに捉え、取組を進めていきたいと思う。